

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場取引所 東大

上場会社名 東海リース 株式会社

コード番号 9761 URL <http://www.tokai-lease.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 三木 伸之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理会計部長

(氏名) 西 彰一

TEL 06-6352-0001

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日

平成21年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	5,031	△23.3	112	△67.7	107	△66.4	76	△69.5
21年3月期第2四半期	6,559	—	349	—	320	—	251	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	2.20	—
21年3月期第2四半期	7.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	23,501	15,679	63.9	431.30
21年3月期	25,837	15,683	58.1	430.82

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 15,012百万円 21年3月期 14,997百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
22年3月期	—	5.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,700	△7.9	380	△12.4	310	△19.1	290	72.1	8.30

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	34,943,225株	21年3月期	34,943,225株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	136,972株	21年3月期	132,590株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	34,807,200株	21年3月期第2四半期	34,822,916株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1)上記の通期の業績予想につきましては、平成21年10月16日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり内容を変更しております。

(2)業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値が異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想に関する注意事項等につきましては、3ページ「【定性的情報・財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 2 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出が持ち直し、景気は緩やかに回復しつつあります。しかしながら、設備投資、住宅投資は大幅に減少し、また、雇用・所得環境は一段と厳しさを増しており、消費者物価も過去最大の下落率を更新しております。さらに、急速な円高による輸出への影響も懸念され、景気の先行きには依然として明るさが見えてきておりません。

当社グループを取り巻く環境におきましても、民間設備投資の減退による需要の落ち込みは著しく契約単価の下落にも歯止めがかからず、以前にも増して厳しい状況下にあります。

このような状況におきまして当社グループは、積極的に営業活動に取り組み、縮小する市場での需要の深耕に努めてまいりました。また、低迷する受注活動の中での利益獲得のため、外注費の低減や経費削減に注力し、一定の効果を上げることができましたが、計画通りの業績を挙げるまでには至りませんでした。

この結果、当第 2 四半期連結累計期間の売上高は 5,031 百万円(前年同期比 23.3%減)、営業利益は 112 百万円(前年同期比 67.7%減)、経常利益は 107 百万円(前年同期比 66.4%減)、となりました。また、特別損失に投資有価証券評価損 23 百万円を計上した結果、四半期純利益は 76 百万円(前年同期比 69.5%減)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産の部

当第 2 四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末より 2,335 百万円減少し、23,501 百万円となりました。理由の主なものは現金及び預金の減少 1,127 百万円及び受取手形及び売掛金の減少 1,003 百万円であります。

(2) 負債の部

当第 2 四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末より 2,331 百万円減少し、7,822 百万円となりました。理由の主なものは支払手形及び買掛金の減少 945 百万円及び短期借入金の減少 406 百万円であります。

(3) 純資産の部

当第 2 四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末より 3 百万円減少し、15,679 百万円となりました。理由の主なものは、利益剰余金の減少 97 百万円及び為替換算調整勘定の増加 87 百万円であります。

(4) キャッシュ・フローの状況

当第 2 四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、28 百万円の支出となり、前年同期に比べ 580 百万円減少いたしました。主な理由は、仕入債務の減少額が 653 百万円増加したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは 178 百万円の支出となり、前年同期に比べ 148 百万円支出が減少いたしました。主な理由は、リース資産取得による支出が 137 百万円減少したことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは 925 百万円の支出となり、前年同期に比べ 552 百万円支出が増加いたしました。主な理由は、短期借入金が 329 百万円減少したことによるものであります。

以上の結果、当第 2 四半期連結累計期間の現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末より 1,127 百万円減少し、1,356 百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成 22 年 3 月期の通期業績予想につきましては今後の経済の見通しや当社グループを取り巻く環境等を総合的に判断し、平成 21 年 4 月 24 日に公表しました通期業績予想を修正しております。

詳しくは平成 21 年 10 月 16 日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、業績予想につきましては現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまなリスク要因や不確実な要素により、現時点の予想と異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,637	2,764
受取手形及び売掛金	7,276	8,280
商品及び製品	139	125
仕掛品	4	24
原材料及び貯蔵品	285	311
その他	288	294
貸倒引当金	△62	△73
流動資産合計	9,570	11,726
固定資産		
有形固定資産		
リース用資産（純額）	4,899	5,003
建物及び構築物（純額）	2,671	2,720
土地	4,982	4,981
リース資産（純額）	578	595
その他（純額）	147	149
有形固定資産合計	13,279	13,450
無形固定資産	256	248
投資その他の資産		
投資有価証券	114	101
その他	261	286
投資その他の資産合計	375	388
固定資産合計	13,911	14,086
繰延資産	19	23
資産合計	23,501	25,837

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,442	2,388
短期借入金	883	1,289
リース債務	119	116
未払法人税等	39	60
前受リース収益	2,038	2,371
賞与引当金	55	186
役員賞与引当金	10	16
設備関係支払手形	18	19
その他	477	502
流動負債合計	5,085	6,950
固定負債		
社債	1,300	1,300
長期借入金	325	606
リース債務	417	469
繰延税金負債	67	56
退職給付引当金	538	489
役員退職慰労引当金	88	282
固定負債合計	2,737	3,203
負債合計	7,822	10,153
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,032	8,032
資本剰余金	5,811	5,811
利益剰余金	1,382	1,479
自己株式	△25	△24
株主資本合計	15,201	15,299
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14	△10
為替換算調整勘定	△204	△291
評価・換算差額等合計	△189	△302
少数株主持分	667	686
純資産合計	15,679	15,683
負債純資産合計	23,501	25,837

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	6,559	5,031
売上原価	4,831	3,735
売上総利益	1,728	1,295
販売費及び一般管理費	1,379	1,182
営業利益	349	112
営業外収益		
受取利息	6	4
スクラップ売却益	7	4
負ののれん償却額	—	26
その他	14	12
営業外収益合計	27	47
営業外費用		
支払利息	45	43
その他	10	9
営業外費用合計	56	52
経常利益	320	107
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	6
固定資産売却益	0	0
役員退職慰労引当金戻入額	—	1
特別利益合計	0	7
特別損失		
固定資産除却損	2	3
固定資産売却損	—	0
投資有価証券評価損	22	23
役員退職慰労金	20	—
特別損失合計	45	26
税金等調整前四半期純利益	274	88
法人税、住民税及び事業税	31	20
法人税等調整額	6	1
法人税等合計	37	22
少数株主損失(△)	△13	△9
四半期純利益	251	76

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	274	88
減価償却費	450	452
負ののれん償却額	—	△26
有形固定資産除却損	2	3
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	9	△14
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3	△130
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	7	△6
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	30	49
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△12	△193
受取利息及び受取配当金	△8	△5
支払利息	45	43
リース用資産の中古販売による売上原価	50	26
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△0
投資有価証券評価損益 (△は益)	22	23
為替差損益 (△は益)	△2	0
売上債権の増減額 (△は増加)	175	1,020
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△103	48
その他の資産の増減額 (△は増加)	5	12
仕入債務の増減額 (△は減少)	△281	△934
前受リース収益の増減額 (△は減少)	△20	△344
その他の負債の増減額 (△は減少)	△7	△57
その他	△0	0
小計	633	55
利息及び配当金の受取額	7	5
利息の支払額	△45	△45
法人税等の支払額	△43	△44
営業活動によるキャッシュ・フロー	551	△28
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△146	△178
定期預金の払戻による収入	146	202
リース用資産取得による支出	△314	△177
社用資産の取得による支出	△22	△30
社用資産の売却による収入	0	1
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
子会社株式の取得による支出	—	△1
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	8	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△327	△178

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	173	△156
長期借入れによる収入	160	50
長期借入金の返済による支出	△521	△586
リース債務の返済による支出	—	△57
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△173	△173
少数株主への配当金の支払額	△10	—
その他	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△373	△925
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△147	△1,127
現金及び現金同等物の期首残高	2,095	2,483
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,948	1,356

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

当社の企業集団は仮設建物、ユニットハウス及びこれらに付随する什器備品類等のリース及び販売という単一の事業を営んでおり、事業の種類別セグメント情報は作成していません。

② 所在地別セグメント情報

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が 90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

③ 海外売上高

海外売上高が、連結売上高の 10%未満であるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. 生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第 2 四半期連結累計期間における生産実績は、次のとおりであります。

(自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 21 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

事業の種類	金額	前年同四半期比(%)
仮設建物部材等の製造	287	93.5
合計	287	93.5

(注) 1 上記金額は、主にリース用資産の製造高であります。

2 記載金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第 2 四半期連結累計期間における受注状況は、次のとおりであります。

(自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 21 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

期首 契約残高	四半期中契約高		四半期中契約実行高		四半期末契約残高		四半期末契約残高 のうちリース期間 未経過契約高
	金額	前年同 四半期比(%)	金額	前年同 四半期比(%)	金額	前年同 四半期比(%)	
3,806 (1,434)	5,250	71.8	5,031	76.7	4,025 (1,987)	86.9	2,038

(注) 1 () 内の数字は内数で、工事未着工の契約高であります。

2 記載金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第 2 四半期連結累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

(自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 21 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

区分	金額	構成比 (%)	前年同四半期期比 (%)
仮設建物部門	2,909	57.8	74.3
什器備品部門	1,412	28.1	80.1
ユニットハウス部門	708	14.1	80.6
合計	5,031	100.0	76.7